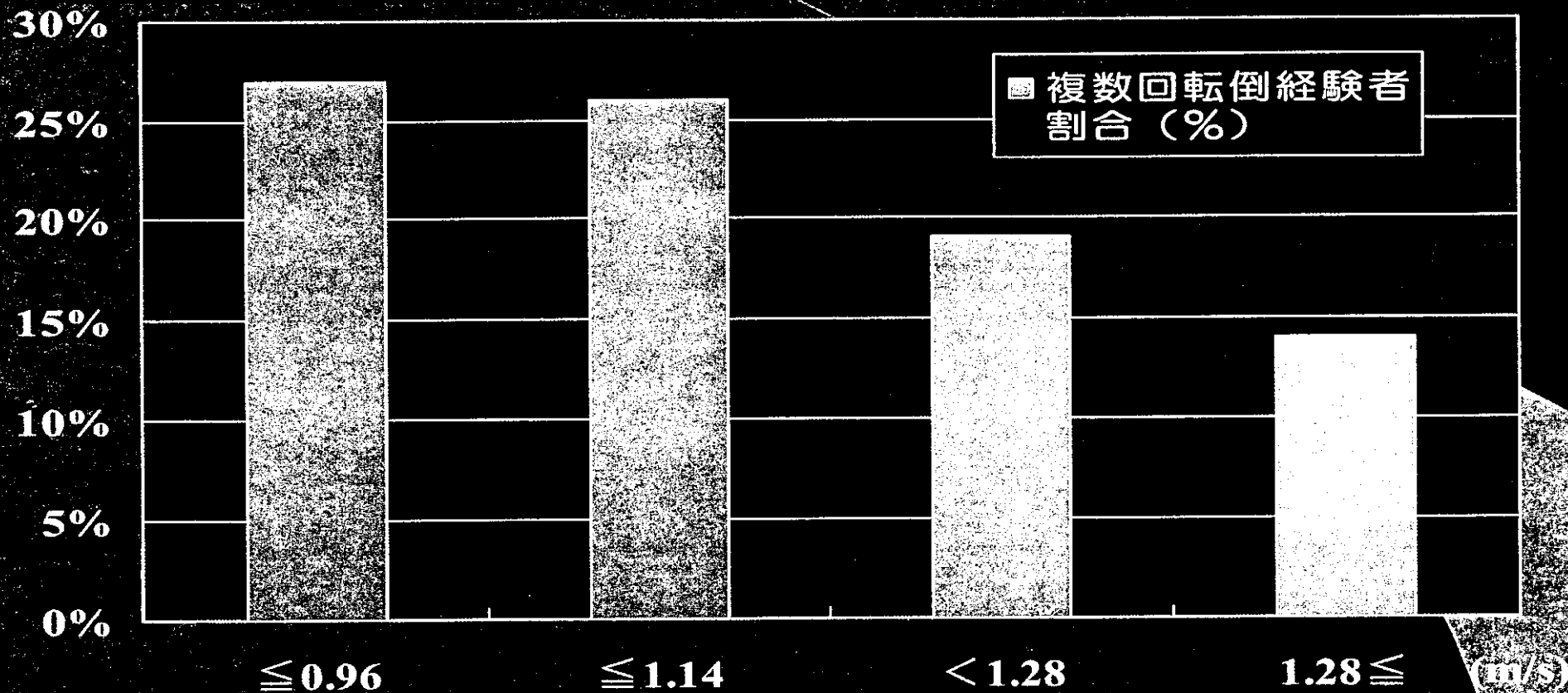


## ケアマネジメントの現状

- 継続認定者では、2年間で43%の方の要介護度が悪化。特に、要支援者の悪化率は約6割と、高い水準。
- 要支援者は、歩行などの下肢機能が低下しやすい傾向あり。
- 悪化しやすいにも関わらず、要支援の約8割は、1種類のサービス（家事援助、通所介護、福祉用具貸与等）しか受給せず。

# 初回調査時の通常歩行速度別 5年間の複数回転倒経験者の割合(%)

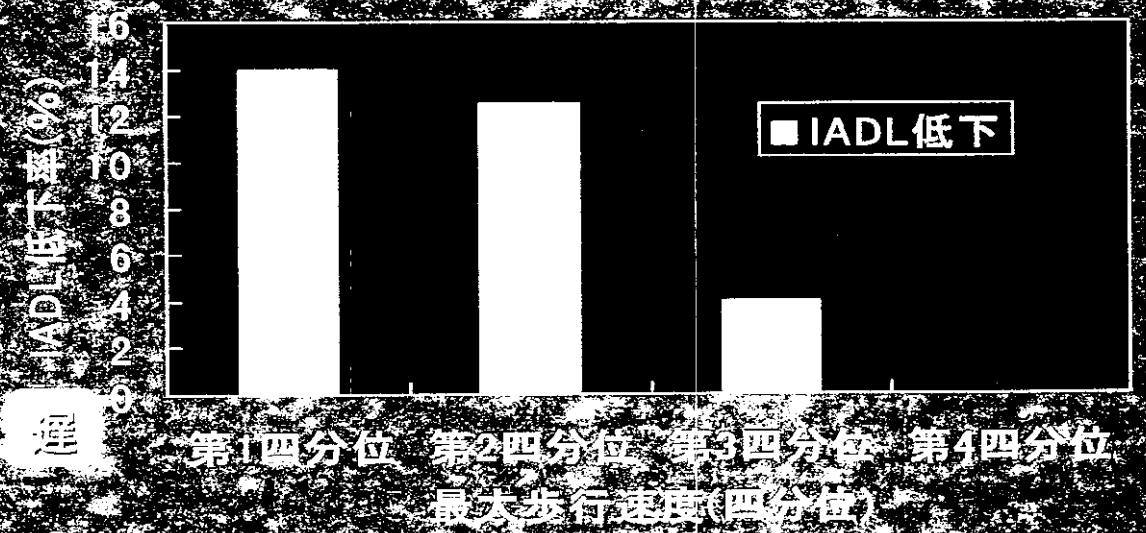
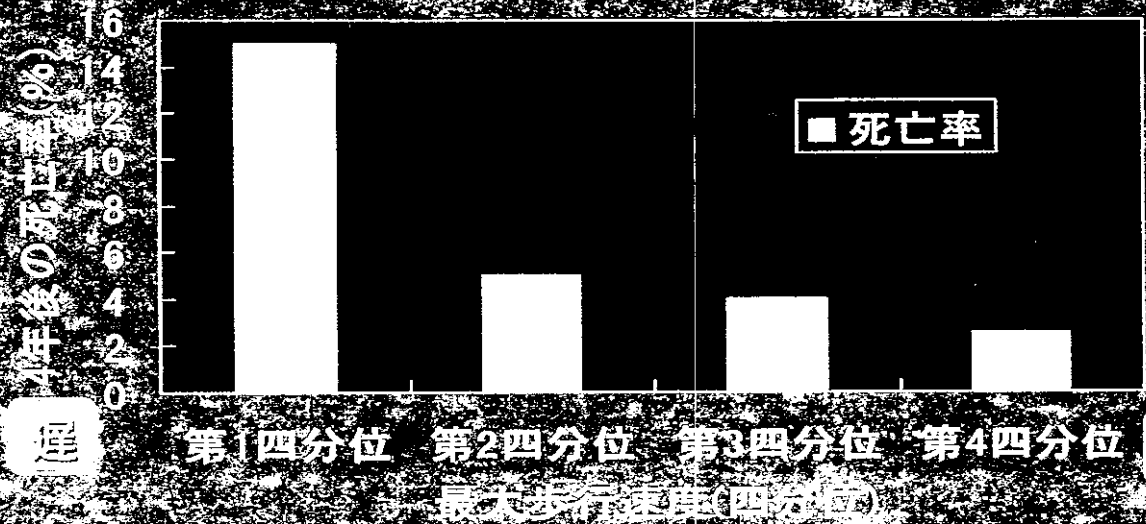


遅

速

歩行速度が速い人は転倒を起こしにくい  
1m/sが境目か(横断歩道を歩いて渡れるスピード)

# 初回調査時の最大歩行速度(四分位)からみた 4年後の死亡率とIADL低下の関連



最大歩行速度が遅い者

死亡率は高い  
IADL低下率は高い

速

速

「IADL」  
→老研式活動能力指標内のIADL  
(初回で5点満点だった人が対象)  
IADL低下=4年後4点未満の者